

市町村名		宮古島市					
平成29年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑦		賑わいのまちづくり事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
	担当部課名	建設部 都市計画課		事業実施(予定)年度	平成28~30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受入体制の整備 Ⅲ-1-(1)
事業内容	中心市街地における市民・観光客の集客交流拠点として位置づけ、イベント開催等を行うための賑わい創出の場として活用し観光振興に繋げるため、賑わい広場を整備する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和3年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度		H29年度		H29年度(繰越)	
		(a)当初予算額	5,000	100,772	0		
		(b)予算現額	5,000	100,772	0		
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)繰越額	-	0	16,387		
	A. 計(b+d)		5,000	100,772	16,387	0	0
	B. 執行済額		4,979	84,385	0		
	うち交付金充当額		3,983	67,508	0		
	次年度繰越額		0	16,387	0		
	執行率(%) (B/A)		99.6%	83.7%	0.0%	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		事業予定地の地権者(1件、1筆:238.17㎡)から合意を得られず用地取得が出来なかった事で、16,387千円の不用額となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
	公有財産購入(5筆):1,479㎡	目標	調査・設計(不動産鑑定評価業務の実施)	公有財産購入(5筆):1,464.70㎡	( )	( )	
		実績	調査・設計、不動産鑑定評価業務の完了	公有財産購入(4筆):1,226.53㎡			
	目標	( )	( )	( )	( )		
	実績						
達成状況説明	平成28年度に調査・設計、不動産鑑定評価業務の完了し、平成29年度に公有財産購入(5筆):1,464.70㎡の内、(4筆):1,226.53㎡を購入した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度			目標値(年度)
	公有財産購入完了	目標	( )	(公有財産購入(5筆))	( )	( )	( )
		実績		公有財産購入(4筆)			
	【参考指標】 公有財産購入面積	目標	( )	(1,464.70㎡)	( )	( )	( )
		実績		1226.53㎡			
進捗状況説明	広場の整備に向けて、用地購入業務を実施したが、1筆・238.17㎡の用地が購入できなかった。購入面積については、1,464.70㎡に対し、実績値1,226.53㎡となり、約83.7%の達成率となった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園用地購入予定面積、1,464.70㎡の内、238.17㎡について、補償に関して地権者から合意を得られず購入出来なかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画より取得面積が減ったため、整備計画を見直し、維持管理や利用方法について、近隣住民や通り会等関係機関と意見交換を重ねる必要がある。</li> </ul>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>整備計画や、維持管理や利用方法について、近隣住民や通り会等関係機関と意見交換の場を設け、賑わい創出の公園整備に取り組んでいく。</li> </ul>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
84,385	84,385	67,508	16,877	0

```

graph LR
    A[宮古島市  
84,385千円] --> B[公有財産購入費  
84,385千円]
    B --> C[公有財産購入  
個人(2名)  
84,385千円]
    C --- D["4筆 122,653㎡  
賑わい広場整備に必要な土地の購入"]
  
```

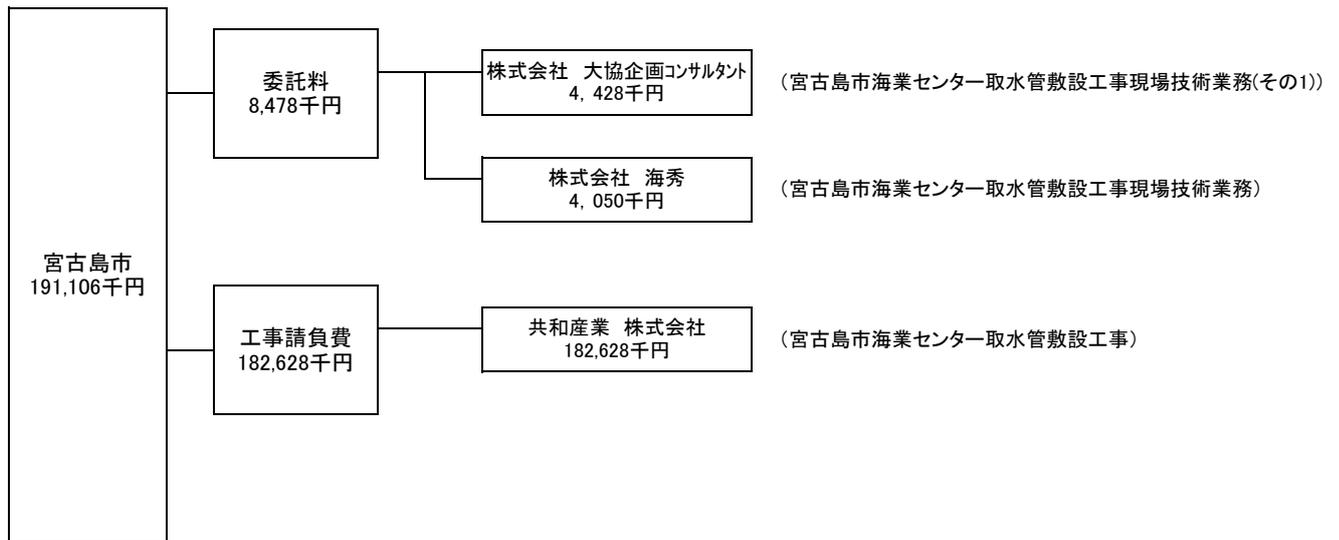
資金の 用途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○公園用地の地権者であるため、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、不動産鑑定評価に基づいており、不用額は16,387千円となっているが、用地取得の難航により(1件1筆)購入出来なかったが、適正な規模であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途について事業目的に即しているものであった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宮古島市					
平成29年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-②	宮古島市海業センター整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア		
担当部課名	農林水産部水産課	事業実施(予定)年度	平成24~令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 Ⅲ-1-(6)		
事業内容	海業センターを機能強化することにより、養殖業の支援、栽培漁業の水深を図る為、取水管工事を実施し、工事に伴う現場管理業務を実施する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和2年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	R1年度	
		(a)当初予算額	12,000	339,235	—		
		(b)予算現額	11,124	191,519	—		
		(c)増減額(b-a)	▲876	▲147,716	—	0	0
		(d)繰越額	—	—	117,081		
		A.計(b+d)	11,124	191,519	117,081	0	0
		B.執行済額	11,124	74,438	116,668		
		うち交付金充当額	8,899	59,550	93,334		
		次年度繰越額	0	117,081	—		
		執行率(%) (B/A)	100.0%	38.9%	99.6%	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明	取水管敷設工事を平成29年度の単年度で整備する予定であったが、工事の進捗等を踏まえ事業計画を見直したことから、147,716千円を減額した。 工事資材の調達に時間を要し、一部を繰越した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)	達成状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	取水管整備陸上工事の実施	目標	( 取水管敷設 )	( 取水管敷設 )	( )	( )	
		実績	取水管敷設実施	取水管敷設実施			
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	予定していた取水管敷設工事及び現場管理業務を実施した。 取水管敷設工事の内容 1. 取水管敷設 2. 被覆ブロック制作及び設置 現場管理業務の内容 1. 取水管敷設工事の現場管理						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)	基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)	
		目標	( )	( 環境影響調査業務の完了 )	( 取水管敷設工事及び現場管理業務の完了 )	( )	( )
	実績		環境影響調査業務の完了	取水管敷設工事及び現場管理業務の完了			
	目標	( )	( )	( )	( )	( )	
	実績						
	進捗状況説明	取水管敷設工事にあたり、岩礁破砕許可申請を行ったが、許可がおりるまでに不足の日数を要したため、工事の発注時期が遅れたことや、取水管の制作に時間を要したことから、繰越事業となった。また、繰り越したことで台風時期と重なり、工事が遅れたため平成30年10月に工事が完了した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取水管整備陸上工事が完了したことから、引き続き整備を進め施設の機能強化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設整備にあたっては、計画的な事業執行に努める。</li> </ul>
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は取水管施設工事(海上部)、水槽設置、研修施設について順次整備を進め、施設の完成を目指す。</li> <li>・施設を活用した水産業の活性化に向けた取り組みの検討を行う。</li> </ul>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
191,106	191,106	152,884	38,222	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。</li> <li>○予算規模については、執行率が99.6%と高かったことから、適正な規模であったと考えている。</li> <li>○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	